

各委員会の視察報告

総務常任委員会

25年11月13日～15日の3日間、行政視察を行った。

江戸川区では、企業会計基準などに準じた、東京都方式による新公会計制度の導入について説明を受けた。

西宮市では、市税の収納率向上のために、従来の窓口納付や口座振替に加え、携帯電話などを活用した新たな納付方法などについて説明を受けた。高知市では、公共工事や委託業務を発注する際の基本理念を明らかにした、高知市公共調達基本条例と、中心市街地の活性化について説明を受けた。



▲江戸川区での視察の様子

厚生常任委員会

25年11月12日～14日の3日間、行政視察を行った。



▲豊中市での視察の様子

品川区では、待機児童の解消に向けて、22年度から総合的な対策を実施し、受け入れ拡大を図っており、これらの取り組みについて説明を受けた。袋井市では、健康づくりの実践記録に応じてポイントがたまり、小中学校等への寄付などができる「健康マイレージ制度」の説明を受けた。

豊中市では、市の福祉部門と雇用労働部門が連携した、生活保護受給者・生活困窮者などの自立支援について説明を受けた。

環境経済常任委員会

25年10月23日～25日の3日間、行政視察を行った。

沼津市では、23年に策定された環境基本計画の中で、市民協働による計画策定や優れた実践活動について説明を受けた。

豊田市では、超小型電気自動車やITS（高度道路交通システム）などが展示・体験できる、低炭素社会モデル地区「とよたエコフルタウン」を見学して説明を受けた。名張市では、農業分野での障がい者雇用における推進組織の取り組みと、障がい者と農家をつなぐ農業ジョブトレーナーの役割や育成方法などについて説明を受けた。



▲とよたエコフルタウンでの視察の様子

建設常任委員会

25年11月13日～15日の3日間、行政視察を行った。



▲鹿児島市での視察の様子

佐賀市では、地元意向調査をもとに調査及び評価し、優先順位をつけて道路整備を行う「道路評価システム」と歴史的風致の保存や継承のための「歴史的風致維持向上計画」の説明を受けた。

長崎市では、老朽危険空き家対策事業の概要や空き家を除却する際に費用の一部を市で補助する、老朽危険空き家除却費補助金の内容について説明を受けた。鹿児島市では、鹿児島中央駅地区を中心とした街区の再開発事業の現状について説明を受けた。

文教消防水道常任委員会

25年10月23日～25日の3日間、行政視察を行った。

豊橋市では、救急車などの緊急車両が交差点を通過する際に、青信号と赤信号を調節し、病院収容所要時間の短縮につながる現場急行支援システムについて説明を受けた。神戸市では、いじめ防止の取り組みとして、教職員の対策強化とともに、神戸市中学校会議で「いじめのない明るい学校づくり宣言」を採択しており、それらの取り組みについて説明を受けた。

春日市では、学校現場教育委員会、教育委員会事務局の改革を行うっており、それらの取り組みについて説明を受けた。



▲神戸市での視察の様子

他の会議等の開催状況

【議会制度検討会議】

議会制度検討会議では、基本条例制定後も、会議を開催し、議員報酬や、議員定数について検討を重ねている。

また、予算委員会の設置について協議するため、県議会の視察を行った。



▲12月24日の視察の様子

【公共交通問題調査特別委員会】

11月に委員会を2回開催し、公共交通ネットワークの構築について協議した。

【ネットワーク型コンパクトシティ調査特別委員会】
12月に委員会を1回開催し、ネットワーク型コンパクトシティの構築について協議した。